

さ ざ ん か

第73号、2007年11月

秋の夜長、いかがお過ごしでしょうか。日が暮れるのが早いから、本当に夜は長く感じますね。読書の秋。ちょっと昔の文学青年に戻って、芥川龍之介、太宰治、中島敦、夏目漱石、カミュ、カフカ、ヘルマンヘッセなどの代表作だけを読み返してみてもあらためて古典と言うか、これまで高い評価を得ていた作品の実力を感じました。良いものは時代が変わっても評価は変わらないというのは当たり前のことでした。レイモンド・チャンドラー、アガサクリスティもステキでした。フィッツジェラルドの「グレートギャツビー」は大昔、大学の教養時代、英語の訳文の種本だったことも思い出したりしました。

明治時代に「我輩は猫である」という作品が存在したこと自体、奇跡的なことではないかと思いつつ漱石の偉大さに感動しつつ楽しめました。楽しいときは、時間が止まってほしい、もしくはもっとゆっくりと経過して欲しいと思いますが、まあ世の中そうは上手く進んでくれないようです。もういい加減、そういうことはわかっているつもりでしたけど、人生は迷いばなしという事実だけを再認識したりして過ごす秋の夜です。

さて今年もあとわずか。かわりばえのしない日々ですが、今日一日を大切にしてお元気で過ごしていきたいものです。

県立北薩病院の理念

慈愛・協調・前進

俳句

西屋敷 喜美子

せせらぎや 萩を両手に 掬ひけり

一病を 持ちていただく 栗御飯

病院からののお知らせ

- * インフルエンザの予防注射の季節になりました。12月28日まで施行しています。
ご希望の方は、かかりつけの方も、そのご家族の方もいつでもお申し出ください。
- * 外来の採血開始時間は午前8時開始になっております。朝食抜きの採血があるときは早めに来院して採血をすませ、診察時間が来るまでゆっくりと朝食を取っていただけると思います。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。
- * MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
- * MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * マルチスライスCTで、心臓冠動脈造影もできます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といいます。MR血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。
- * 一階売店近くのロビーに「創作ひばり会」の盆栽が展示してあります。日本人の粋を代表する芸術ですのでゆっくり「盆栽ワールド」をご堪能下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- * リハビリテーションのみが目的の方で、2,3ヶ月歩行訓練とか筋力増強訓練を希望される方には亜急性期病床を8床準備してあります。ご希望の方がいらっしゃれば各科外来にてご相談下さい。
- * 北薩病院のホームページにもこの「さざんか」は掲載しております。ホームページを見ていただくことで、遠方在住の家族の方に、自分の親や兄弟、姉妹がかかっている病院のことを少しでも知っていただければよいなと思います。

* 専門外来のお知らせ

- 肝臓病：毎週月曜日午後（鹿児島大学小原医師）
- 血液病：毎月第2火曜日（鹿児島大学大納医師）
- 糖尿病：毎週 月、金曜日（鹿児島大学福重医師）
- 神経難病外来：隔週水曜日午後（院長）

青空よ

時吉政枝

私の若い頃は（青空よ）聞いておくれ。朝、夜が明けるのをまって十本の指で（カマ）で稲刈りに。また霧がたちこめて前が見えないうちから（カマ）を握って、サッサーサッサーと十人くらいで刈って農作業の上手な人々が一番になって。（女）（青空）よきいておくれ。我は何してもちゃらんぼらんで下手で辛いものだった。（青空）よきいておくれ。あのサーむしろの重かったこと。（青空）よ何十枚も庭にしいてサーア、籾を乾かす昔の話よ。（青空）よ、はるか遠い昔から稲刈りの頃は一日が短かった。

（青空）よ、朝6時にならないと夜が明けない。夕方の黄昏時は5時になると暗くなっても、男たちはかますに乾いた籾を重かっただろう、なわでしばって。（青空）よ、昭和の人々の重労働は辛かったさー。（青空）よ見えるだろう。日本列島は何百万円もする機械で1週間もすると籾になってしまう。（青空）よ、漁師たちも生活のため海の上では今はさんまが取れるのかな。（青空）よ、見えるだろう。何百という船が広い海に朝早くから夕方の黄昏どきまで働いているのが。太陽のオレンジ色した美しい海を染める。オレンジ色とともに一日の別れを告げる。

（青空）よ東と西って不思議ダネー。（青空）よ、相撲の世界でサーア、東一時吉山一、西一高橋山一って美しい袴きてサーア。ベニ花染めやら藍染の美しい袴きて、まあい土俵で相撲さんは禪でズンバイ銭に取れるから幸福でしょうネ。我も（青空）よ、禪より楽なことないズンバイ田んぼや畑やもっていると税金取られることもないで、禪より楽で、太陽だけは東から西に差別なしでいいじゃん。

井戸端会議は元気のもと

宮園 辰夫

昔は人生50年と言っていた。今は違う。女の方は86歳を越へ、男だって78歳を越す時代になった。このままいくと、人生百歳なんて時代も来るんぢやないかと思へてくる。

年を取っても老け込んじゃダメだぞ。今は年寄りばかりで会う機会が多いが、元気な年寄りって云うのはちゃんと自分の仕事を持っている。八十、九十を超したジジイもババアも仕事着をはいて朝も6時、7時になると草取りをしたり、空き缶等拾い、他人の役に立っているってことが、生きる張り合いになっているだろう。腰は曲がっても元気で体を動かすことが、長生きの秘訣だって思う。都会の年寄りはなかなかそんな場所がないが、田舎はいい。ゲートボールやグランドゴルフ、好きなものが出来る。また、場所もある。子供と年寄りと一緒に遊ぶ場所だってある。

年寄りには朝が早いから、若い者から嫌がられたりするが、今は違う。交替勤務の仕事に行く人が多いから、昔とは違う。することは一杯ある。同志でカラオケに行ったり、昔の馬鹿話をしたり、年寄り同志で馬鹿話をすることがボケ防止に有効だ。年を取ればとる程、井戸端会議をしるというくらい大事なことだ。あちこちの空き地で木陰を見つけて、昔話しをすることも大事なことだ。一人でフケてしまうことは一番良くない。また、暇があったらお墓参りをすることも大切だ。年寄りの仕事は所が変わってもちゃんと色々あるから、工夫することも大事だ。家に閉じこもっていないで、何かを見つけて歩くことも大事だ。若者に負けるな。何か役に立つことをすれば、生き甲斐も生まれる。

頑張れ、年寄り。政局の話や時事放談も大切だ。新聞、テレビを見ていると世の中の事が、誠に腹が立ったり、びっくりしたり、狂っている世の中がよく分かる。病気の事も大事だが、そればかり考へていたら、何もする気がしない。頑張らう。体を大事にし乍らやらう。負けるな。

短歌

八羽の一陣来て もう早四千羽を超ゆる鶴の群れ
寒くなり布団干し襟かけ今日も終わらんか貧しき我が家

さつま狂句

ローンで買った車はアクセル踏めばローンで言て走ち

祝儀錢の友人聞きてから持って走っ

ルーチン

カラーマン（とその女）

人の世は繰り返す、ようで同じではない。毎日同じようなことをしているようで同じことはしていない。今思っている自分と1秒後の自分は、同じようだが間違いなく違うのである。（あら、そんなことは当たり前じゃない。時間が流れるってのはそういうことなのよ。祇園精舎の鐘の音を聞いたり、川の流れる水を見て日本人はそんな風に思ってきたのだわ。）

う、うるさい。秋の夜長、人生についてしみじみ考えてみようとしてるんだから、黙っ

てろ。(は一い。どうぞお好きなだけアホ云って見てね。お受けたまりますわ)

今回はルーチンについて考えてみたい。本来は【決まりきった仕事】(広辞苑)のことをいうのだが、最近は日常生活がほとんどルーチン化している。殆ど変わり映えしない毎日である。大体、同じ時間に起きて、同じ時間に出勤し、同じ様な日々を過ごす。もちろん、曜日によっては仕事内容は変わったりはするが、それでも月曜日は毎週同じ様な月曜日であり、火曜日も、水曜日も、木曜日も、金曜日も、土曜日も、日曜日も同じように経過する。たまには異なる業務がはいるが、それすら月単位、年単位でみればルーチンである。

ようするに基本は起きて、食って、寝ることの繰り返しである。(人間は、生まれて、生きて、死ぬだけだものね。) 当たり前かも知れないし、みんなそんなものと言ってしまえばそれまでだが、民主党の小沢代表は突然、辞意を表明したり、取り消したりルーチンからはずれて楽しそうに見えるし、ナースは勤務が昼間だったり、夕方から出勤だったり、深夜に働いたりして面白そうに見えるぞ。(あなたね、それは言わない方がいいかもしれないわよ。夜勤って大変らしいわよ。そんなに軽く云えば袋だたきに合うわよ。大体ナースって、根に持つタイプの人が多いらしいから気をつけたほうがいいわよ。) <そ、その方が云っちゃあまずいんじゃないのか>

はっきりは覚えてないが、子供の頃は違った、と思う。毎日が、それぞれの一日であった。昨日と同じ今日はなかったような気がする。あんまり明日のことは考えてなかった。

いや、遊んでいるときは今夜のことも考えずに遊んで、気がつけば夕暮れの帰宅時間を過ぎていて親に叱られることもしばしばであった。(そうだったわねえ。塾もスポーツクラブもなかったし、放課後の遊びって楽しみだったわ)

いつから日常がルーチン化したのだろうか。おそらく、社会人になってからだだろうと思う。それまでは、小学校、中学校、高校、大学などとそれぞれに違う新たな社会が待っており、これまでとは違う環境、友人達に囲まれて日々が新鮮であったような気がする。(まあ、今にして思えば、ってことね。若かった当時はそんなこと考えもしないものね。結局、年とった、ってことじゃないのかしら)

ルーチン化した日常は、しかし一方ではまた安定という意味では大切なことなのかもしれない。何十年も同じ仕事をコツコツとこなしてきた職人さんは賞賛に値する。儂い目的を持つからルーチン化に嫌気がさすのかもしれない。日々の仕事が生きている証拠であり、名も求めず、富も求めずひたすら仕事に励むという姿はカッコいい。(でも、大志を抱くとか、夢を追いつける人生とかもけっこう賞賛されたりするのじゃないのかしら。よく、夢を持ってとか言われたような気もするけどなあ。少年よ大志を抱けとか、アメリカンドリームとか云うし・・・)

いま云われている「下流社会」というのは、決して見た目だけの格差社会の貧しいだけの下流のことをいっているのではなく、名誉やお金や地位を求めず、日々生きていくだけのお金と家族があればそれでいい、あくせくして出世を目指して人を蹴落とし家族を犠牲にして上流を目指しても空しいだけ、という価値観に基づいたものだ。いわば、昔の職人さんに近いのかもしれないね。夢とか大志は意味を置き換えると、人間の欲望丸出しともいえるしね。要するに有名になって大金持ちになりたい、という意味合いが強く、世のため社会のためになにごとかをなしたい、という意思を感じるものが少ないのが最近の夢や大志である。(ホリエモンとか、ベンチャー企業家たちはほとんどお金が目的のように見えるものね。)

お金の絶対的価値観を置くと、ルーチン化は我慢できないだろう。なぜなら、今日も明日も同じ日々を続けていれば日常を越えるお金持ちにはなれないから。ルーチン化からはずれて大儲けしたいと思っている欲深い人々ををねらって、インチキ商法が跋扈する。だいたい、汗も流さず知恵も使わずに大儲けできると思うことが間違っている。(あら、でも某日銀総裁は仲間に預けておいた1000万円が2500万円に増えたわよ。)ま、まあそういう利権を持っている人間以外にとってはということだよ。利権を持たない人間がルーチン化からはずれて儲かろうとすると、詐欺商法を企てたり、賞味期限を偽ったり、論文をねつ造したり、材料をごまかしたりしなければならぬのだろう。欲望の少ないルーチン化した下流社会もまんざらでもないのかも。(煩惱ってついてまわるものねえ)

結局、日々の繰り返しの中で、欲望にとらわれず、いかに生き甲斐を感じ生きていけるか、ということがたいせつなのであろう。競争第一、資本主義原理主義のグローバリゼーションの嵐の中で、そういう日本人だけで生き残っていけるかどうかという問題はあるだろうけど。(あたしもそうも思うけど、でも、やっぱり普通の女の子の人生もいいけど、ある日突然シンデレラになってみたいなあ。もし、王子様がいなければせめて数えきれないくらいの福沢諭吉さんでもいいけどなあ。何やかやいってもやっぱりお金が大事!だわ)

編集後記

ぼちぼちと来年の診療報酬改定の話が出ています。財務省はマイナス改定を要求しているようですが、いい加減にしないと本当に日本の医療は崩壊してしまう、というのが最近の飲み方での仲間うちのうめき声です。医療費を減らすことだけが目的であれば、いったい誰のための政治であり、政策なのでしょう。(KT)